大阪歯科大学 O.D.C.
兵庫県校友会報

発行所
大阪歯科大会
兵庫県校友会
西宮市南郷南三
編集兼発行人
磯島吉之祐

廿九年度 新入会員歓迎会

和氣あい々裡に開催さる

今年度新入会員歓迎会は十一月七日例年通り社会事業会館に於て会場が狭少を感ずる程に盛大且つ和かに開催された。大歯日和とでも云ふのか、此の日はカラリと晴れ亘つた蒼空が今年卒業の学一組を心から祝福して雀の囀づる声すら、心なしか歓迎譜と聞える快晴の佳き日だつた。

例に依つて、毒舌暴言の磯島理事の司会で会が始まる。来賓席に静かに微笑んでいる白数本部会長夫人の姿が一輪ざしの白菊の様に会場に明るい空気を漂はせ開会を宣した井上副会長の温顔と共に一層和かな雰囲気を醸し出していた「次に会長の簡単な挨拶がありません」ウイットとサタイアを混じえた司会に冷やつとした校友もあつたが、その疑惑も壇上に現れた阿部会長の笑顔によつて一掃される一幕も有つて会は順風に帆を挙げた様。

遠路本部よりの来賓白数会長の祝辞に学生時代の組織の時間を偲び奥野県副会長は竹中県会長が出張不在のため、竹中恒夫氏に代つて白数御夫妻を冷やかして満場の拍手を誘ひ、アツと云ふ間に降壇したのも鮮かだつた。

新入会員代表として香西正昭氏が答辞として御礼の言葉と決意を披瀝する頃には、会場を埋め盡した校友の顔から此の会などでは見られない後進を見守る温い眼差しが壇上に注がれていた。徳永副会長代つて立ち、県役員、地方公職員等の紹介に移ると、何れ劣らぬ猛者と美の競艶会となり、大歯校友に斯る猛者ありと、大いに力強さを抱かしめる。

新入会員の紹介が始まる、何の顔も此の顔も若さと熱に焔えている頼母子さ多分に老獪に入つた先輩に新鮮の気を吹き込んだ事だろう。入れ代り立ち代り色んな校友が壇上に現れる。（そして勝手な事を喋舌つては降りる。それで良いのだ、だつて同じ穴の狐ぢやないか）総てを寛るし信じ合つた瞳（二十四のどころぢやない）に見守られ乍ら嬉しさうに話す先生方楽しさを絵に画いた様な集りの中で好きな事と云ふのだから、之が楽しくない奴は何うかしている。……今年度に学位を得た木村氏の表彰も皆の喜びに迎えられて行はれた。柳生嘉雄氏の母校の近況報告では真剣に話しを聞き、一入母校愛を再燃する。実に利害を超えた愛の集ひとは、斯んなにも気持ちの良いものかと思はしめる。

此処で酒が入つた。近況談から懐旧談に移行する頃には歪が飛び爆笑が起り歓声が響く愈々会は佳境の第二部に入り壇が舞台と改名され、神戸放送特別賞助出演のクイズが始まる「失敗つた。酒が廻り過ぎたツ」と思つたのは司会の磯島理事と、演芸主任の蘆谷名人だがもう遅かつた。解答者か、アナウンサか、訳が分らない様なクイズになつて了つたが何とか平野アナの気転で三十分は無事は済んだ。（平野さん御苦労様でした）

福団治の落語、蘆一声の万才、さては待望？のストリップ。此処まで来ると歪の手を休めて舞台に顔が顔まる、現金なものだ。（幸いるエンピツに思はす力が入る。谷幹事が、ホツとした様な顔をしている）

阿部会長がストリンパーと握手、他にも何かした様だ。白数夫人と同性の余りな姿態に、伏目勝ち無理もない。と思はず同情する。フエミニスト。）この項を書いて中年以上の先生に効果があつたらしい。（筆者もやはりオノコなるか）男性アクロバットの鮮かさに胆を冷やして酔が醒めかけたら。又々ストのアンコール、演芸主任仲々粋な御人である。又酔が廻る。特に

最後に、メインエベントのダイマル、ラケットによる抱腹絶倒的の万才に粋れ易い秋の陽も忘れ老ひも若きも、ただ一つ血を分け合つた校友の二字に融け合つてアクサリーもデコレーションもない「お守り」を絶に画いた様な集りの中で好きな事と云ふのだから、之が楽しくない奴は何うかしている。……今年度に学位を得た木村氏の表彰も皆の喜びに迎えられて行はれた。柳生嘉雄氏の母校の近況報告では真剣に話しを聞き、一入母校愛を再燃する。実に利害を超えた愛の集ひとは、斯んなにも気持ちの良いものかと思はしめる。

此処で酒が入つた。近況談から懐旧談に移行する頃には歪が飛び爆笑が起り歓声が響く愈々会は佳境の第二部に入り壇が舞台と改名され、神戸放送特別賞助出演のクイズが始まる「失敗つた。酒が廻り過ぎたツ」と思つたのは司会の磯島理事と、演芸主任の蘆谷名人だがもう遅かつた。解答者か、アナウンサか、訳が分らない様なクイズになつて了つたが何とか平野アナの気転で三十分は無事は済んだ。（平野さん御苦労様でした）

福団治の落語、蘆一声の万才、さては待望？のストリップ。此処まで来ると歪の手を休めて舞台に

年頭の辭

阿部　勉

此処でクドクドしく述べる事は省略致しますが、大学院設置に失敗し我々の心の故郷母校がB級、C級学校に転落致します事は卒業生としては何んとしても忍び難い事で、是非とも一日も早く達成致しますよう念願して止ない次第であります。兵庫県校友会としても積極的に協力致したい所存であります。会員諸氏の御協力を切望してやみません。

次に兵庫県の関係では四月に市町村議員の選挙が行われ、それには立候補される会員が相当あると推測されますが、之には是非地元会員の友情による熱意ある御応援を期待致したいと存じます。

選挙と云えば我々の重大関心事である参議院議員選挙も愈々あと一年と迫りました。全歯科界は大歯校友会の力を見守つております。又大歯校友会では兵庫県校友会の動きを見守つております。竹中恒夫氏を出す事は業権確保の為である事は勿論ですが我々として一同の面目問題でもあります。お互に力を合せ我等が団結の真の力を天下に示す可きであります。本年は最後期間として慎重に老慮せねばならぬ事と存じます。

楽しい行事としては春の交歓旅行会と秋の新卒業生歓迎会があります。昨年の城崎旅行は地元但馬分会の御世話でとても愉快な旅行でしたが、今年は淡路分会との交歓で鳴門観潮など如何でしよう。新卒業生歓迎会はいつも会場が手狭で窮屈な思を致しましたが、今年は立派な兵庫会館ホールで堂々と行えるのが楽しみです。

四月の定時総会には学術或は時局講演を行いますが、各分会の総会にも御希望があれば講師を派遣致します。分会によつては活発に活動しておられる処もありますが、中には沈まり返つている分会もあります。今年から大いに活躍を御願い致したいと存じます。幸始に学術講演会を御開き下さい。講師謝礼費、交通費一切当方持で参りますから、十分御利用願います。こうした学術探究による親睦の機会をつくると共に、スポーツを通じての親睦なども如何でしよう。各分会代表チームによる兵庫県校友会親善野球大会を盛大に開催出来たらと思います。

校友会員は互に単に親密であるばかりでなく、助け合えるものでなくてはなりません。之は私が乗々申しておる事であります。意味で共済制度を今年当りから始めたら如何かと存じます。本県には県歯科医師会に立派な共済会がありますが、然しまだ十分なりとは云い得ません。例えば疾病臥床の場合一月一万円三カ月見舞金が支給されますが、不幸三月以上の病気ではどうなりましよう。大体臥床して二月位は健保報酬金が入り余り困りません、本当に困窮するのは健保支払金がなくなつてからであります。この窮状に落込んだ校友を皆で何んとか援助して上げる方法はないものでしようか。

自分自身その立場になつた時の事を考えますと之が共済制度があれば、日常どれ程心安まるか知れません。歯科医師会の事業としては色々制約もありそこに限界がある事で、五十歳以上の人は加入出来ぬなど真の相互扶助の精神に悖る面も出てくる事は止むを得ぬ事かも知れません。然し打算的観念を払拭し専ら美しい友情と、相互信頼を基礎に結ばれた集団で共済制度を行うとすれば、自由な構想が出来る筈であります。而して兵庫県校友会こそ、その集団ではありますまいか。

如何でしようとか、何々でしようとか誠に頼りない云い方でありますが、之は私個人の老想でもあり又任期もあと僅で希望に過ぎないからであります。私の初夢として次期会長に希望し期待したいと存じております次第であります。

今年も又会員諸氏が御健康で御多幸であるよう祈りつつ雑然順序なく述べ恐縮でしたが以上私の夢を上げて年頭の辞に代えさして頂きます。

×　×　×

今昔の感

石岡淳三

昭和四年三月母校を卒業した小生は、神戸で開業した。

当時大歯の校友は市内に於て二十数名（市内全会員三百数十名）全県で僅に五十名足らずの小会派であり、従つて医政的にも微力であつた。校友会としては大歯会と云う名の下に校友の集をやる位のものだつたが、それも大体に於て医政的の集りであつた様に記憶する。

昭和十年頃には校友も相当数増加し、且つ地域的にも一つの集いをもつまでになり得たので、県下を東部中部西部但馬淡路と五分会に大別し、各分会は夫々の立場に於て行事を行うと共に互に連絡をとり親睦を図ると云う組織にし、五分会を一括したものを母校々友会兵庫県支部とする事に定め各地区は夫々分会を結成する事とした中部則ち神戸分会は逸早く分会を結成し分会旗も作り、総会或は会員不幸の時等には分会旗を立てたものだ。

次で西部、東部に分会が出来たが夫れ以外の地区では仲々成立しなかつた。

ところで県支部設立を計画し支部会則の草案を作つたが、当時会員数に於て神戸分会が大多数であつたのと、各派との交渉関係等も考慮されて神戸市に支部の事務所を置くこととしたのが、西部分会では同意を得たものの東部分会の有力会員が反対してとうとう実現が出来なかつた。

当時県歯科県歯科医師界は大小七つ程の会派に分れ中でも検定派の会友会と云うのが一番勢力があつた。而しどの会派も単独では組閣出来ず何れかの一、二派と提携して組閣し役員を配分した、従つて大歯としては後に与党となり又野党となつた事もあつたが、たとえ与党となつても副会長一、理事一乃至二、審査員一の椅子をとるのに相当骨が折れた而し近い將来に大歯の勢力は拡大される事を予想し先輩の歩んで来た道が後輩の進出に悪い影響を残さぬと云う考えでいつの場合でも正論を通し、正道を歩んで来たことを誇りとしている。

県歯科医師会の代議員会も今日と比較にならぬ程熱があり気合が入つて、夜の十二時を過ぎる事もあつたし、又鉄拳の飛んだ事もあつた。將来伸んとするものには常に活気があり、生気がみなぎつていた。六百有余の校友を擁する今日、昔を省みて転たに感慨無量、秘、社保、新医療費体系問題等々今日の吾業界は益々多事、正に未曾有の危機に直面している、今こそ業界挙つて団結を固め一大結集力を以つて是等諸問題の解決に邁進せねばならぬ。

愚感

山下治夫

団結だ!!組織を挙げて!!吾々はもつと強固にならねば!!等と色々の集合体となるとその会合の席上で叫ばれることがある、この叫びがある内はその集合体は弱体であることの証明を集合体自身が表明している感がある、組織体は一固体化して初めて強力なものである、組織が強力化されるには常に組織の一単位が集会をし、一単位を構成する各組の共通点が結集されてその組織体の中枢に集約される、この運動の継続こそ真の組織活動であり会運動であろう、中枢よりの刺戟のみによる細胞群の活動でなく細胞郡の活動によりその固体を生物化する中枢刺戟でなければ真の組織活動でないのではなかろうか、この感覚で吾々の会運動を吾々会員個々の立場から見たときに反省の要があるのではないか、組織活動、団体運動で一糸乱れずその目的貫徹に躍進するものに対する世判はおよその場合「赤い」と云う一語につきる。

組織活動に熱心になると「彼奴少し赤いぞ」と云う批判がとび出す然もその声が、組織の構成員中から出る、赤いも黒いもない組織活動自体が退化しつつある現状から一歩でもよりよき世界の進まんとする活動であろう、個人に例をとれば平社員が係長に、課長に進まんとする努力がある、この努力が組織活動であろう、仏教にさへある来世への幸福を求める、精心がそうだろう。

我々の分会も誕生旨なお浅い赤ん坊だ先輩分会の指導と温情と期待し会員諸賢とともに組織活動精心せねばと念願する。

校友會員一年生として

西田眞知

社会人としての人生街道に希望と不安を持つて歩を踏み入れた私は、校友会に迎へられて何か懐しさと寛を憶える様に感じました。

凡そ人間は社会から孤立して生存し得ないのでありしかもこの変転帰趨を知らぬ紛糾した状勢下では私共校友相互の同調がなければ、研究も又臨床もその成立の困難な事は当然でありませう。そこで校友会は単なる懐旧的な憩と親睦の機関としてのみでなく、生活のあらゆる面に関しての有益な指導忠告を頂ける場でもあり、又日進月歩の学問技術の研究の道場であると共に、業界発展のための政治的な一団である事も又必要でありませうしかし又一面日常各個人は独立して歯科医業を営んでいる以上、校友会は所謂生活の横の連繋となり、その円満無欠にして一糸乱れぬ統一の如何に困難でであるかは想像に難くないのであります。

母校大阪歯科大学が三転して六年制大学となり、更に大学院設置も遠からずという旭日の勢で発展の途上にある折柄、私共は先輩諸先生方の御指導御鞭撻の下に、母校並びに校友会の明日の力の礎となるべく粉骨砕身致す覚悟であります。

【俳句】

燈下親し

西村武雄（灘區）

燈下親しいづれは帰りゆく人と
菊の前わが来し月日影多し
子を打ちし手をふところに菊の前
菊手折りかなしき祭よみがへる
白菊に四十路の怖ふとおぼゆ

謹賀新年

社団法人　兵庫縣歯科医師会長
竹中恒夫

「米國製歯科材料廉価分譲」

今般校友会事業部で直接アメリカの商社より歯科材料を輸入計画しておりますので、御希望の材料・品目・数量等を、御申込み下さい。（市販の三割位は安くなる見込みです）

申込場所
神戸市葺合区中島通二ノ四八
磯島歯科内
大歯校友会　渉外部

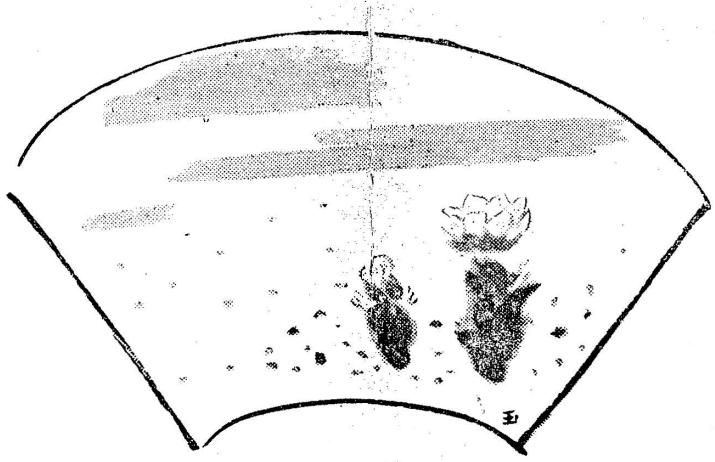
新入会員歓迎会に有志校友から多額の寄附を賜つた事を改めて厚く御礼申上げると同時に、会場の雑用に心良く動いて呉れた乳歯会の諸兄に心より感謝いたします。（磯島）

校友會海を渡る

「淡路地區學術講演並に懇談会記」

本日即ち昭和二十九年六月二十二日早朝わが県校友会初の淡路地区進出とて阿部会長以下全副会長を含む役員七名、それに我等がホープ竹中県会長夫妻、今日の特別講師前田次郎博士迄れに加ふるに後便で到着の本部校友会々長白数教授夫妻の同勢、神戸中央埠頭西汽船桟橋に集る

伊藤副会長発旋による特別席に座を占む。



カット　玉川義男

やがてドラの音に船は岸壁を離れる。港内に釣糸を垂る暇人をながめ乍ら和田の関門を通過、名代須磨の浦が白砂靈松、次いで平磯の燈台を左舷に船首は除々に南え、淡路東岸沿いを見え隠れに走る全淡バスと競うが如く南下、午前十一時を過ぎる頃無事洲本港に到着。出迎えの校友の御案内に宿舎一椎荘に入れば、早速一同裸と成り涼風を入れ、冷い牛乳に渇を癒す

昼食後都合で会場を一ノ瀬洲本市会長の別宅附上に移す。開会予定時刻暫々遅れ岡田理事司会で徳永副会長の開会の辞にて始まる。

先づ阿部会長の挨拶は県校友会の近況報告特に今回初めて会が淡路進出するの弁有り次いで竹中県会長の最近の税問題社保問題に関するホットニュース、溝井会計理事の報告及び校友に協力をお願い。引続き淡路地区の分会結成に対する懇談に入る。

伊藤副会長座長にて校友より委員を選出別室にて協議、後総意に依り分会成立淡路分会と称す。分会長一ノ瀬耕介氏

副会長木多宋、小泉久英両氏決定

此の間本月の会合に態々御出席を戴いた白数本部会長より各地校友会の状況、学校附属病院の現状、校友会と学校の関係等々のお話しと御挨拶有りて、最後に前田次郎博士の「校友ならでは話せない保険に関する微妙な臨床の話」なる演題で約一時間の講演を盛夏の午後の暑さも何程の事と、全員終始熱心に聴講活発なる質疑応答有りて予定の五時過ぎ井上副会長の閉会の辞にて無事終了す。

終つて分会員の腕自慢に記念撮影を行う。

此の分会も他の地方分会と同様交通不便の遠隔地より多数御出席を願い暑さの折柄も最後まで熱心に聴講懇談を願い諸先生方共々校友会の為嬉しく思つた事で有る

同処で帰宅の時間一杯気軽にビールの泡を飲み快談、又一ノ瀬会長の御挨拶分会員の自己紹介より各自の名調子の流れ出る頃懐しのO・D・Cの校歌と共に本日の行事も有意義に終了し室副会長の挨拶にて解散さる。

最後に本日の会合に種々御世話下さつた一ノ瀬会長を始め分会員の諸先生方に厚く御礼を申上げ校友会の為に尚一層の御協力と御援助をお願申上げる次第で有ります。

（岡田一三記）

淡路地区懇談会での模様

近頃の若い人達

伊藤　栄

近頃の若い人達の服装のよさ、スマートさは全く我々には一驚に値する。決してぜい沢ではないがとにくかすつきりしていて実にすがすがしい。又学生諸君を見ても質実ながらきちつとしていて好感が持てる様だ。中には若い人達や学生諸君のうちでもきざつぽい人達もないではないが、我が大学にはあまり見あたらない。

この事は全く心強い気がする。又その態度も立派だ女性との交遊もなかなか堂に入つている。やさしく然かもひくつではなくいいフレンド振りを発揮している少しもいや味な所が見えない。たのもしい気がする。

又歯科学的な話をしても実にち密で不勉強な我々がびつくりする様な事を知つている。一昔も二昔も前には窪からを誇示して不潔を売り物にしていた時代とは全く一変して近頃の若い人達には美青年が多い。

あまりほめすぎた様である。では少し悪い一面も云つて見よう。態度に少しきやう慢な所がないでもない少し遠慮がなさすぎる様だ。街を歩くにも映画館に行くにも丸でアクセサリーの様にカメラをぶら下げている。あれでは少しカメラが可愛いそうだ。又やたらに煙草をふかして室内の空気をよごしてしまう、物事に思いやりがない。何でも自己本位に物事を処理してしまうエトセトラーである。

次は女の子だ。実に姿態がすくすくと延び実にいい格好の子が多い化粧もいいが話をしている所を聞いていると少し頭脳に欠かんかあるのではないかと思う。

然し今の若い人達の団体行動はよく一致している。目的遂行の為には自我を捨てて実によく団結する、又思想的にもかたよらず各自信念を持つている。

団体的に行動する時ことに宴会などでいつも柄の悪いのは必ず年以上から出る様だ。折角の気分のいいフンイキを心ない言動でぶちこわすのもきまつて中年以上なる今の若い人の酒ぐせの悪いのは知れている。

こう云う人達に限つてあたかも民主主義の本家はこちらでございと云つた顔をしているくせに、何事をしてもへりくつを一くさりの、なかなか一致しない。然かも人よがりの意見を固持してはばからない。全く団体行動では今の若い人達に教えられる所が多い。だから真面目な人や若い人達がなるべく会合や宴会に出なくなるのである。

たとへ酒は二の次でも料理は月並でも、若い人達の宴会は実に愉快だ。又我々には一種のホルモン剤の様な作用もする。又我々同業の間に近頃こう云う噂をしばしば聞く、現在の歯科大学出は態度が高慢である。お高く止つている、技術も出来ないし徒に俸給ばかり高く云う。なるべく開業医の所へは行きたがらないと。僕はこの態度は実に立派だと思う。数少い学ぶべき価値のある同業は別として今日の様に健保に血眼になつて一日を過し口では立派な事を云いながら、近隣の同業と火花を散らして戦つている同業者の所で何を学ぶしかも低劣な料金ややすい健保が唯一の飯の種にして、あつぷあつぷ云つている同業医にこの立派な後輩をみちびくだけの力と価値があるだろうか。

僕はこの人達の態度こそ我々がひくつに過して来た道を向上発展させてくれる原動力になるのだと思う。必ずこれからの若い人達こそ歯科医の地位を向上させてくれるものだと確信する

「今年の夢」

井上　俊男

今年の夢と云う題で書けと云う御命令で一応は考えてみたものの大体夢なんてものは若い人々の専売特許の様なもので、小生の如くひねたものにはたとえ書いてみてもあまりぴんとこないのではないかと思つたりしたが、編集部の先生が或は小生を若返らす為にあの題を選んでくれたのかと思い深く感謝の意を表しながら多少は後めたい気もするが、廿才程さばをよんで心に浮すんだものを書いてみました。

大体小生は物忘れのいい方らしく、此の原稿も永津先生から速達で催促をうけて思い出した様な次第で、夢の方も何だか夢を見た様だとは思い乍ら何の夢やらさつぱり思い出さぬ儘に忘れてしまうと云うのが毎日なので、今年の夢とあらたまつて聞かれても、本当の夢の通り唯漠然としてつかみどころが無いと云うのが本声です。

而しそれでは陽のあたらぬ夢となるので、無理にない智恵をしぼつて空白を埋める事にしました。

小生元来世界状勢の何とか、我国に於ける医政問題が何うかと云う様な肩のこる話は嫌の方なので一番小さい自分と云う事に就いて考えてみますと、先ず第一に健康に今年は尋したいと思うのであります。

人生の一齣である一日を楽しく悔いることなくおくりたいと願つているだけです。健康と云う基礎の上に気持をおけばそれこそ夢は無限に湧いてまいります。自分自身の事も又は自分の事以外の事に関しても、社会的に広く人間社会に貢献するためにも、総ては健康と云う土台なしでは何事も出来ないと思います。その意味に於て小生の今年の夢として要約されたものは健康と云う事を最大の夢としてそれに邁進致そうと思うのであります。

昭和廿九年の回顧

徳永　明

校友会の使命は会員相互の親睦と歯科医学の向上を計り母校の発展を援けるのが目的であります。我が兵庫県分会は此の線に沿い校友の親睦をより一層緊密にする為に県内を七分会に分け、各分会は地方歯科医師会単位に支部を設ける事にして居ります。分会制度は既設の播磨、神戸、但馬分会を除き本年には残り四地区の内阪神、尼崎、淡路分会の三つが結成しましたがあと丹波地区の結成が出来ますと一応計画が完遂され校友会の運営が円滑に行く事が出来ます。丹波地区校友の速やかに結成されます事をお願いします。

次に大阪歯科学会総会が神戸市に於て開催された事です、大阪歯科学会の総会は毎年一回地元の大阪で開催されて居り地方的には縁の浅い感があり校友中にも全然知らない方々もあり大阪大学歯学会と混同せる方もある位ですのが本年よりは地方に於て開催するという事になりその地方進出の第一回を神戸市で開き度いとの大学側の希望がありましたので兵庫県校友会では全面的に協力援助する事となり、会長を始め各役員の協力努力により十月十日、神戸医大臨床講堂に於て総会、研究発表並びに特別講演があり総会に於て次期会長に白数美輝雄氏が就任可決しました。引続き場所をパーリースタに移し母校教授連一同と兵庫県校友会との懇親会が行われ、柳生教授により母校教授助教授、講師並びに助手の紹介あり各教授連の挨拶があり、地元阿部会長その他有志の挨拶がある内に酔も出て話しが色々出て最高潮に達した頃、白数校友会長の竹中恒夫氏の激励後援の言葉があり一同の決意も新たに一致団結やるぞとの気が場内に満つ所、竹中恒夫氏の決意是が非でもやりとげるとの感謝の言葉があり、阿部会長の大阪歯科大学校友会万才の三唱があり盛会裡に終る。

次に校友会としての初の試みである懇親旅行が去る七月十日城崎で阪神、神戸、姫路地区の会員と地元の但馬分会々員との間に懇親会が行われた事である。今まで総ての会合は神戸で行われた関係上、地方の方々と全面的に会合する事の出来ないのを此の旅行親善により一層近親感が或は兄弟感が出来て来るのでありますので今後とも引続き各地方に出掛け度く計画するものであります。

尼崎分會便り

増田鷹雄

先づ大歯大校友会とりわけ兵庫支部の日増の発展を心からお喜び申上げます。再編成途上に於ける教年前の自然発生的な企画なり、行事なりに嘸べれば見違える程内容も充実しつつある今日、我が尼崎分会にてもこと一年間の足跡を述べたいのですが一紙面の都合もあつて今回は或る顕著な一つの目的に対する分会校友一同の決意に就いて御報告申上げましよう。

世上とかく校友会意識の過剰を恐れるの余り、学閥の悪い面である俳徊主義に直ぐ結びつけたがりますが、元来閥の字は功績、門地、柱等の意味でこれが独占主義の如く宣伝されるのは会の本質を考えずその特殊性を悪用するからであります。従つて、日頃を始め各地方歯科医師会に対する一校友会の働きかけは如何なる面で貢献するかと云えば、歯科医人全部の業権と生活権の確立を絶対の緊急事とする限りに於ては我々校友会々員は同一の勝利獲得のために堂々と該斗争のイニシアチーブをとつて差支えないばかりか、それが却つて全歯科医人の政治力結集の契機となりましよう。

況んや、幸なるかな。校友の一員であり色々の点で卓越せる人が身命を賭して業界のために斗いつつある秋尼崎分会全員が除々ではありましたが氏をもり立てるべく覚悟を新にし一致結束の態勢に進みつつあるのもこれ又当然の事と云えましよう。以上簡単なれどお便りまで。尚当分会の昭和三十年度の企画等に関してはアンケートを配りその最大多数をもつて決定する筈であります。

"最近の姫路"

室　進

心のふるさを同じくしその上同じ県内に住居する者の会報が発刊されるのは、大歯兵庫県校友会が次第に大きくなり、それは丁度子供が大きくなり物が言える様になつたと同じ様な、よろこびを私は感じます同窓会の発展会員の団結の為に母校に於て過般名簿が作成されたのと共に、之により若き日のすがすがしい思出をたどり、親懇を重ねる契縁と思うと文句なしに嬉しく感じます、と共に何か言い度くなります私が二年余り前に姫路に来た時は現在の姫路歯科医師会長の伊藤先生と小寺先生の二人丈でしたが両先生とも姫路の指導的幹部級の人でしたが私を入れて三人では会も作れず居ました。

その後年月は流れて最近の姫路は敗戦を境にいろいろの苦難の重積に押され押されて、心のゆとりもなく、歯科医師会も分裂の憂目にあい、同窓も所属の会を別にして増加しました。姫路市の拡大に伸び節磨も飾磨区として姫路市に編入された為同窓の数は驚く程増加し、然も多士済々で伊藤、藤本、内田先生等の大先輩の外に、油の乗切つた滝北先生、盛大を極める北道先生等殆んどの人が粒よりの中心的人物揃いの増加で播州地区の一大力となつて来ました。

今迄でも心の「ふるさと」を同じくしている関係何か事ある時は、やはり同窓の境地は脱していませんから心の落付きを取戻すと共に各人の心は母校中心に向うに違いありません、現に年末、年始にかけて親しい集いを度々する計画も着々進められて居ります。

最近の姫路は姫路市が城下町より脱して工業都市に飛躍発展すると共に大歯同窓会の発展も期して待つべきものあると信じています。

大言する様ですが白鷺城が国宝である如く姫路同窓会もぴか一的存在になる日も遠くない様に思われます。

× ×

小唄教室

新春より
兵歯会館で開催

一、小　唄　小西派
一、先　生　小西延親代
一、週一回　（会員協議で決定）
一、会　費　（一回百円程度）

同好の先生方は、神戸市葺合区中島通二丁目四八磯島歯科まで至急御申込み下さい。

【川柳】松村風郎（生田區）

御夫婦で来る先生も時代なり
ヌードから握手をされるかぶりつき
もうこんな世帯に殖えた大歯会
ひつつこい野次にマイクもむきになり
身を入れて見る曲芸え汗をかき